

# 管内及び全国鉱山の災害・鉱害等 発生状況について

令和6年5月

関東東北産業保安監督部

# 管内及び全国鉱山の災害発生状況

## 災害発生状況

項目 鉱種別	年	関東管内					全国					災害回数比率 (管内/全国)
		災害回数	死	重	軽	計	災害回数	死	重	軽	計	
金属・非金属	R1	1	0	0	1	1	9	1	2	2	5	11%
	R2	0	0	0	0	0	4	0	1	1	2	0%
	R3	2	0	1	0	1	11	0	5	2	7	18%
	R4	0	0	0	0	0	6	0	3	1	4	0%
	R5	1	0	1	0	1	9	1	5	1	7	11%
石灰石	R1	11	0	6	2	8	30	1	13	4	18	37%
	R2	4	0	2	0	2	25	1	13	2	16	16%
	R3	3	0	3	0	3	18	0	11	0	11	17%
	R4	4	0	2	0	2	14	1	4	3	8	29%
	R5	5	0	4	1	5	20	1	13	3	17	25%
石油・天然ガス	R1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	100%
	R2	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	100%
	R3	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	100%
	R4	2	0	1	0	1	2	0	1	0	1	100%
	R5	2	0	0	1	1	3	0	0	1	1	67%
石炭	R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	R3	0	0	0	0	0	2	0	1	1	2	0%
	R4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0%
	R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
亜炭	R1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	R3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	R4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合計	R1	13	0	7	3	10	40	2	16	6	24	33%
	R2	5	0	2	1	3	30	1	14	4	19	17%
	R3	7	0	6	0	6	33	0	19	3	22	21%
	R4	6	0	3	0	3	23	1	8	5	14	26%
	R5	8	0	5	2	7	32	2	18	5	25	25%

※災害件数、罹災者数：鉱山保安統計年報の値。自然災害件数は除く。非鉱山労働者は罹災者数から除く。

# 管内及び全国鉱山等の鉱害等発生状況

## 鉱害等発生状況

(1) 関東管内事由別発生状況

( )内休廃止鉱山:内数

事由／年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
坑廃水	2(1)			1(0)	
集積場・廃棄物					
油の排出	1(0)				
鉱煙	1(0)			1(0)	
風水雪害・震災	8(0)				1(0)
その他					
計	12(1)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)

(2) 関東管内鉱種別発生状況

( )内休廃止鉱山:内数

鉱種／年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
金属	1(1)				
非金属	1(0)				
石灰石	6(0)				
石油・天然ガス	4(0)			2(0)	1(0)
製錬場					
計	12(1)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)

# 管内鉱山の災害・鉱害等発生状況(令和5年)

## 令和5年 関東管内災害発生状況(鉱山保安法第41条等による報告)

2023年12月31日現在

No	災害発 生月日	都道府 県名	鉱種	り災者数			直轄 or 請負	年齢	担当職務 経験年数		危害 or 鉱害	災害の種類	概況	
				死	重				軽	年				月
					>4w	4w> 2w								
1	1/8	栃木	石灰石				1	直轄	35	0	0	危害	坑外:その他	罹災者は、担当する職場の異動初日の新人研修で、教育担当者から指導を受けながら場内を歩行中に、操作室北側通路の階段途中の上部フロア一端(高さ158cm)に頭を打ち当てたほか、2箇所において頭を打ち当てて罹災した。(ヘルメットは着用、罹災者の身長は181cm)
2	3/14	栃木	石灰石		1			請負	46	2	6	危害	坑外:機械	罹災者は、集塵機ロータリーバルブの詰り除去を行うため、機械を停止してゴミ取り網ボックスの点検口から鉄製カップで微粉を掻き出したが、ゴミ取り網上に微粉のダマが挟まっているのが認められたため、左手で掻き棒(直径20mm、長さ1,000mm)を持って除去作業を行い終了し、ボックス中に掻き棒を入れたまま操作室に機械の運転を指示した。点検口から掻き棒を抜き出そうとしたが引っ掛かり抜けなかったため右手をボックス内に入れて抜こうとしたところ、服の裾、手袋付近がロータリーバルブに巻き込まれ、それを引き抜こうとしたところ右手人差指と中指を巻き込まれ罹災した。
3	6/5	新潟	石油・天然ガス				1	直轄	31	13	0	危害	坑外:取扱中の器材鉱物等	トラックのテールゲートリフターを使用して、ポンプユニットを下ろす作業中に、テールゲートリフター昇降板からポンプユニットが落下し罹災者の腰から膝の間に落ちて下敷きとなり、罹災した。
4	6/8	栃木	非金属		1			直轄	28	6	1	危害	坑外:墜落	罹災者は、操作室オペレーターから指示を受けて鉱石抜き出しシュート内の詰まりを確認後、エプロンフィーダー脇の歩廊から、シュート内部に向けて1インチのホースで放水を開始したが詰まりが取れないため、水勢の強い別のホースで3~5秒位シュート内に水を掛けたところ、シュートから突然、大量の原石が土石流のように流れ出て、とっさにジャンプして避けようとしたが流されて梯子の降り口から2.6m下の床面に墜落して罹災した。
5	7/7	埼玉	石灰石		1			直轄	38	2	3	危害	坑外:運搬装置(自動車)	罹災者は、ユニック車に高圧洗浄機を乗せて、山頂の切羽から下山中、高圧洗浄機を固定していたロープがほどけて洗浄機が前方にずれていたのを固定するため車を止めた。その後、同僚が散水車で下山していた時、ユニック車が停車しているのを発見した。罹災者から手伝って欲しいと言われ、ユニック車後方約5mの下り勾配の箇所まで散水車を停車し、降車した。罹災者は、ユニック車後方のシャーシのフレーム部に足を掛けて立ち、高圧洗浄機に引っ掛かっていたロープをたぐり寄せていた。その時、後方の散水車が動き出し、ユニック車後方で作業していた罹災者は、散水車との間に腰を挟まれて罹災した。

# 管内鉱山の災害・鉱害等発生状況(令和5年)

2023年12月31日現在

No	災害発 生月日	都道府 県名	鉱種	り災者数				直轄 or 請負	年齢	担当職務 経験年数		危害 or 鉱害	災害の種類	概況
				死	重		軽			年	月			
					>4w	4w> 2w								
6	8/8	新潟	石油・ 天然ガ ス	-	-	-	-	-	-	-	危害	坑外:火災	坑井掘削中、ドローワークスでドリルパイプの巻揚を試みたが作動しなかった。ドリルフロアにいた作業員は、ドローワークス用電動機のブレーカーが落ちたと思い、直ちに当該ブレーカーのある整流器室に向かったが、その途中でケーブルラック内からの発煙・発火を発見した。作業員は直ちに火災箇所付近に配置してあった消火器を使用して消火し、管理者に連絡した。ケーブルラックを調べたところ、電動機の動力ケーブルの中間接続コネクタ付近から出火していたことが分かり、周囲のケーブルの被覆が溶けていた。	
7	9/6	埼玉	石灰石		1			請負	46	21	5	危害	坑内:取扱中の 器材鉱物等	罹災者A(現場責任者)とBを含む作業員6名は、ベルトコンベア(長さ370m、幅1,200mm)のベルト交換作業を行っていた。 巻上機を巻いてベルトを引き出した際に坑道の側壁に取り付けてあった滑車の吊りピースの溶接部が破断し、くの字型に誘導されていたワイヤーロープがベルトコンベア側に引っ張られ、跳ね上げられたワイヤーロープがベルトコンベアの前で監視していた罹災者AとBに接触し、罹災した。
8	9/8	千葉	石油・ 天然ガ ス	-	-	-	-	-	-	-	その他	風水害	生産プラント隣接の河川が大雨により氾濫し、プラントが浸水したため、電気設備等の使用が不可となり生産停止に至った。	
9	10/14	埼玉	石灰石		1			請負	60	17	3	危害	坑外:墜落	罹災者は、出荷タンク積込場の積荷確認用ミラー(高さ3.2mの位置に設置)の角度調整を行うため、物置から脚立(高さ1.7m)を積荷確認用ミラーの下に運び脚を広げた。その際、脚立の脚の滑り止めが3つ外れており、少しグラついたが、このぐらいなら大丈夫と思い、工具(ラチェットレンチ)をズボンのポケットに入れて脚立を登り始めたが、脚立天板まで登ったほうがボルト調整がし易いと思い、天板の上に両足を揃えて立ち上がった際、脚立がグラついたためバランスを崩して後方へ横向きになりながら墜落し、右腰付近を地面に強打し罹災した。

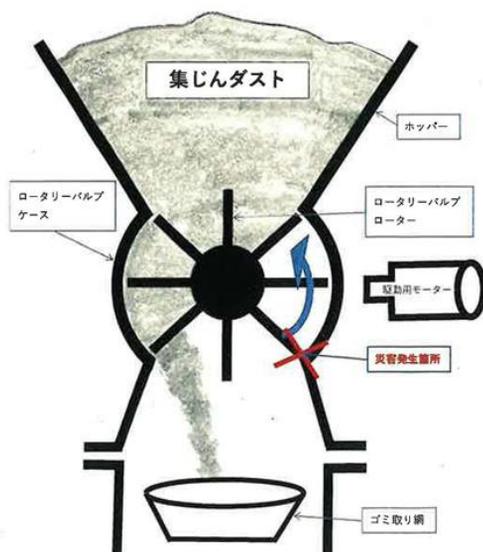
## 災害発生件数(関東管内)

危害 8 件  
 鉱害 0 件  
 その他 1 件

# 管内鉾山の災害・鉾害等発生状況(令和5年)

## 令和5年 関東管内災害発生事例

### 発生頻度の高かった災害(機械 1/1)



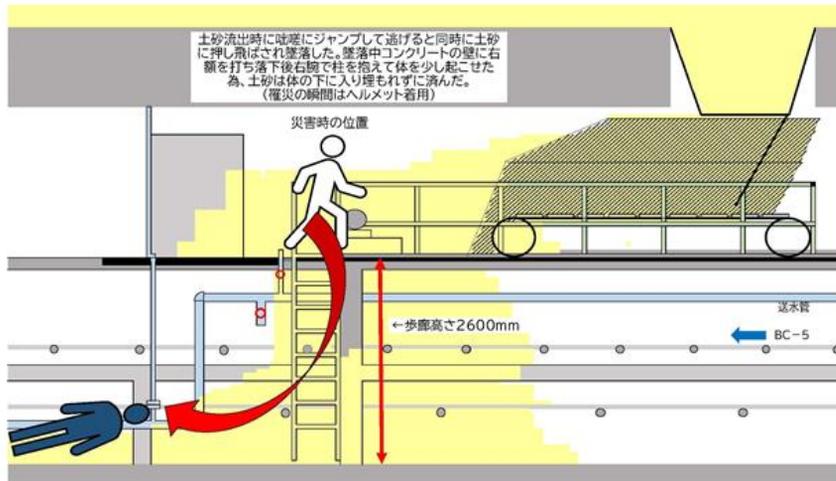
#### ・令和5年3月の災害

集塵機ロータリーバルブの詰り除去後、ボックス中に掻き棒を入れたままで操作室に機械の運転を指示したため、服の裾、手袋付近がロータリーバルブに巻き込まれ、それを引き抜こうとしたところ右手人差指と中指を巻き込まれ罹災した。

# 管内鉱山の災害・鉱害等発生状況(令和5年)

## 令和5年 関東管内災害発生事例

### 発生頻度の高かった災害(墜落 1/2)

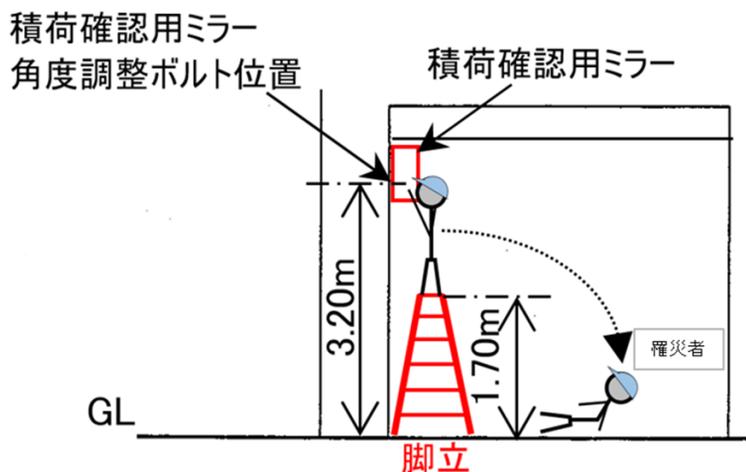


- ・令和5年6月の災害  
鉱石抜き出しシュートの詰まりを解消中に、大量の原石が土石流のように流れ出て、罹災者は流されて梯子の降り口から床面に墜落し、罹災した。

# 管内鉾山の災害・鉾害等発生状況(令和5年)

## 令和5年 関東管内災害発生事例

### 発生頻度の高かった災害(墜落 2/2)



#### ・令和5年10月の災害

出荷タンク積込場の積荷確認用ミラーの角度調整を行うため、脚立の滑り止めが3つ外れて少しグラついたが、このぐらいなら大丈夫と思い、脚立天板まで登り両足を揃えて立ち上がった際、脚立がグラついたためバランスを崩して墜落し、罹災した。

# 管内鉾山の災害・鉾害等発生状況(令和5年)

## 令和5年 関東管内災害発生事例

### 発生頻度の高かった災害(取扱取扱中の器材鉾物等1/2)



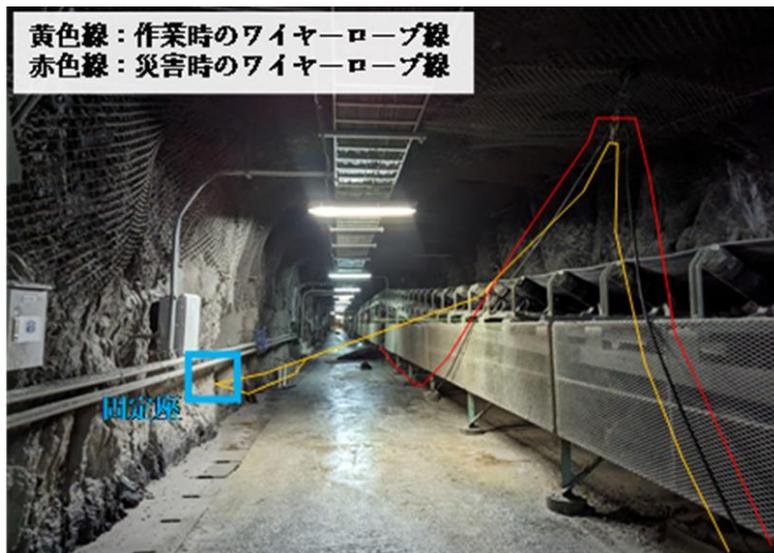
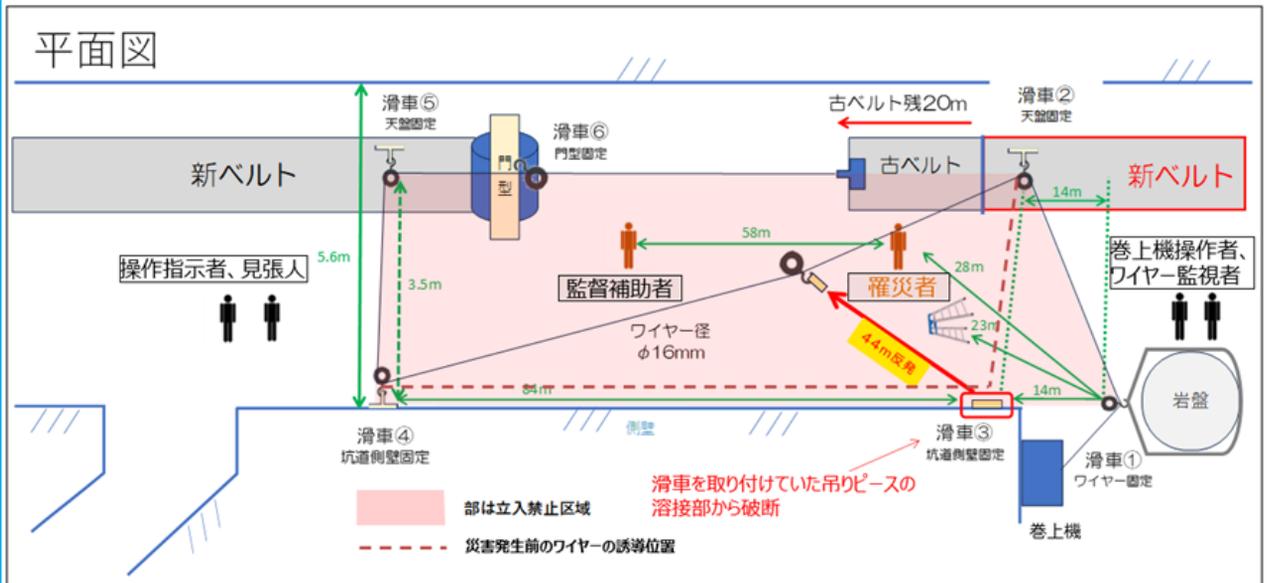
#### ・令和5年6月の災害

トラックのテールゲートリフターを使用して、ポンプユニットを下ろす作業中に、テールゲートリフター昇降板からポンプユニットが落下し罹災者の腰から膝の間に落ちて下敷きとなり、罹災した。

# 管内鉱山の災害・鉱害等発生状況(令和5年)

## 令和5年 関東管内災害発生事例

### 発生頻度の高かった災害(取扱取扱中の器材鉱物等2/2)



#### ・令和5年9月の災害

ベルトコンベアのベルト交換作業中に坑道の側壁に取り付けてあった滑車の吊りピースの溶接部が破断し、くの字型に誘導されていたワイヤーロープが引っ張られてベルトコンベアの前で監視していた罹災者に接触し、罹災した。